

遊!!すぽーつ

第19号

平成16年7月1日

発行

神戸市体育指導委員協議会

神戸市教育委員会

21st Century

特集

ごうどスポーツクラブの新展開!!

県知事よりNPO法人の認証を受ける!! NPO法人格取得により、自主運営への道は開けるのか?

ごうどスポーツクラブがNPO法人格を取得しました。これは、設立準備段階からめざしてきたことで多くの方々の協力があって達成できたことです。また、昨年度末の会員数も約3,000人となり、きわめて順調なスタートを切ることができました。しかし、まだ産声をあげてから1年と数か月、安定したクラブ運営のためには、ますます地域住民の皆さんの協力が不可欠です。地域住民の力を結集して、ごうどスポーツクラブを大きく育てていきましょう。



町民体育館の談話コーナー

◎ NPO法人ごうどスポーツクラブの課題

ごうどスポーツクラブがNPO法人格を取得したことは、自主運営に向けて大きな前進と言えます。なぜなら、ごうどスポーツクラブが、公的に認知された団体になったということだからです。実際に、町からの委託事業等を含め、さまざまな事業展開の可能性が大きく開け、会計面も透明性が確保されることになりました。(詳しくは、前号を参照してください。)

しかし、これだけでごうどスポーツクラブが自主運営できるわけではありません。自分たちの地域社会に「総合型地域スポーツクラブ」が存在することの重要性(自分たちのスポーツ環境や子どもたちの健全育成の場は自分たちで守る等)を理解できる人をますます増やしていく必要があります。補助金等が年々減少していく状況の中で、更に会員や賛助団体等を増やしていくことは大きな課題です。また、それ以上に、多くの方々からごうどスポーツクラブに対するアイディア(建設的意見)を出していただけるようにすることもますます大切になるでしょう。



ごうどスポーツクラブ理事総会



ファミリースポーツデイ

◎ 地域社会の未来を考えることの大切さ

ごうどスポーツクラブは、町内の学校、体育協会、スポーツ少年団、サークル、その他の各種団体、そして個人の方々によって成り立っている団体です。

先日、こんな言葉を耳にしました。「ごうどスポーツクラブに入会したけれど、自分の活動内容は今までとあまり変わっていない。年会費分だけ損をしたような気がする。」という嘆きの声です。このような意見は、クラブを運営する上で、真摯に受けとめる必要があります。改善できる点は積極的に改善し、より快適なスポーツ環境を生み出していかなければならないからです。

しかし、このような考えを述べた人の今までの活動が、補助金等(施設の使用料の減免を含む)の上に成り立っていた場合は、違うとらえ方も必要です。補助金等がどんどん減少している現在、今までと同じ活動が保証されるとは限らないからです。ごうどスポーツクラブがなければ、この人は今までと同じように活動することはできなかった可能性があるのです。おそらく今後は、このようなケースがどんどん増えていくことでしょう。そうやって、はじめてごうどスポーツクラブの果たす役割が理解されるのかもしれませんが、でも、その時、ごうどスポーツクラブがなくなってしまっていたら……!?

ごうどスポーツクラブのような組織は、急にできあがるものではありません。ぜひ、今あるごうどスポーツクラブを、地域住民の力で大きく育てていきたいのです。

ごうどスポーツクラブ委員会の紹介

スクール委員会

スクール委員会は、自分のやりたい種目を楽しんででき、また技術が向上できる質の高い指導を受けられる様を考えています。

違った種目に挑戦できる“スポーツスクール”少年団と中学生が共に練習できる“小中一貫指導”競技力向上を目指す“スクールS”など、スポーツにふれあい自己の力を高めていける場をもうけました。スポーツクラブができる前は、少年団は少年団、部活は部活と接点を持たれる事は少なく、他の種目の体験の場もあまりありませんでした。

しかし、スポーツクラブによって、だれでも色々な種目に参加でき、新しい自分の力を発見できる場が増えました。

皆さんまだまだねむっている才能はありませんか？色々な種目に挑戦して新しい自分を発見して下さい。

スクール委員会は皆さんがスポーツに親しんで頂ける様これからがんばっていききたいと思います。

【石崎】



サークル委員会

サークル委員会は16年度の更新手続きの案内連絡と説明会を開催し、またパスポートの発行をおこないました。15年度登録のサークルのうち更新されないサークルもありましたが、新たに6サークルが登録され、ますます活動しやすい環境を整えていくために、サークル委員会も活動しております。施設の利用などで疑問や困ったことがありましたら、サークル委員会のほうまで連絡ください。

【山川】

指導委員会

指導委員会ではごうどSCの活動の充実を図るために、次のような取り組みを進めてきました。

講演会の開催

指導者の指導力の向上を図るため、また総合型地域スポーツクラブの理解を深めるために講演会を開きました。そして、より有意義な講演会となるようにアンケートをとり今後の活動に生かしたいと考えています。

活動の場の確保

多くの方に指導者登録をしてもらっている反面、実際に活躍の場を提供できなかったのも事実です。その解決のために、指導者会議を開いたり、イベント等の連絡を行い活躍の場の確保に努めました。

指導者のライセンスについて

指導者の指導力が今後のごうどSCの発展を左右します。よって指導者のライセンスの見直しを図ったり、必要なライセンスの取得等について検討しています。

研修の場の設定

指導力の向上のためや新しいスポーツ等の体験の場として研修の場を設けました。昨年度のスポーツチャンバラの講習会では初歩のライセンスの取得もできました。

登録の呼びかけ

ごうどSCが更に発展できるように、指導者としてのみ活躍される方へごうどSCの方針を理解していただきクラブへの登録を呼びかけました。

これからが主な活動ですが、成果は一朝一夕に現れるものではありません。今後もごうどSCの指導者の指導力の向上のため、また、各指導者からの要望に応えられるように努力していける指導委員会でありたいと思います。

【久野】



イベント委員会

イベント委員会ではごうどスポーツクラブの会員になっているにもかかわらず、日頃スポーツにまったく無縁という方にも、気軽に参加できるものはないかと年4回ではありますが、イベントを企画いたしております。平成16年度は、昨年に引き続き、6月「ボウリング大会」・10月「スポレクフェスティバル」「初心者向け登山」・2月「スキー教室」を企画いたしました。昨年度参加いただいた方々の楽しい笑顔と心地よい汗をみて、私達スタッフ一同に感動と喜びを与えていただきました。今年度は、更なる内容で計画しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。子供から高齢者、女性も男性も、さらにファミリーで参加していただき、体を動かす楽しさ、喜びを感じていただきました。地域の方々とのふれあいを深めていただければと思います。

【小野】



広報委員会

いつもは、取材・原稿依頼をしている私が、逆に原稿依頼されたしだいで、「はて、何を書けばいいのやら？」と悩みつつ、そこで同じ広報の立場として広報委員会の活動内容を紹介させていただきます。NPO法人ごうどスポーツクラブ（以下クラブ）では、NPO法人格を4月に取得し、より一層の発展を遂げるかと思われまふ。みなさんも、“ごうどスポーツクラブだより”をお読みになったかと思いますが、委員会での話し合いの中で「いいものをつくらう」と誰かが言った。せっかく創るのであれば誰だっていいものを創りたいと思うもので、あえて言う人は少ない。しかしできあがって見ると果たしてこれでいいのかな？何か写真ばかりで誌面を埋めたみたい、手抜きしたように見える、いや！活字よりも写真でお知らせした方が、クラブの活動内容が判るのではと勝手に思い今に至っているしだいです。そこで「こうしたらいい、あしたらいい」と思っている方がいらっしゃればクラブ事務局に連絡下さい。委員一同一人でも多くの方と広報活動ができることを楽しみにしています。これからも各種スクール・教室・イベントにお邪魔し写真やインタビューをしていくつもりです。その時は「笑顔」で被写体になってください。クラブのお知らせはもとよりクラブ事務局前の掲示板への掲載・ホームページ（近日常ち上げ請うご期待）等に紹介させていただきます。ご理解ご協力の程よろしくお願ひします。

【松岡】

平成16年度体育指導委員の紹介

体育指導委員として

私が体育指導委員という言葉を耳にしたのは、つい最近の事で今までスポーツから何年も遠ざかっていた私にとって、未知の世界でした。体育指導委員の先輩方にお会いし、まず痛感した事は、自分が神戸町民でありながら、神戸町の事をまるで知らないということでした。

これから体育指導をやっていくにあたって、まず地域を知り、体育指導委員というものの本質を理解し、先輩方の熱い情熱と志を共有しながら、地域の為に貢献していきたいと思ひます。

【野原】



〔野原 太郎〕

校 区	氏 名	地区名	TEL	役 職
神戸小	田中耕二			副委員長
	河瀬和寛			
	若園千恵美			
	◎ 吉田貴仁子			
下宮小	◎ 番 直雄			
	山川広利			
	石崎智佳子			
南平野小	清水博子			女性代表
	◎ 松岡 徹			
	☆ 野原太郎			
北小	小倉武郎			委員長
	◎ 尾方祥子			
	堤 勝則			
	小野太久朗			
学校代表	久野三慶			

◎印は、校区代表 ☆印は、新任

第51回東海四県体育指導委員研究静岡大会

第51回 東海四県体育指導委員研究静岡大会が、2月13・14日の2日間行われ、神戸市体指も12名が、参加しました。

1日目は、講師 有森裕子（リクルートAC所属マラソンランナー）演題「よるこびを力に・・・」と云う講演で、陸上を本格的に始めたのは、高校からで、高校・大学と補欠だったそうです。オリンピックのインタビューで語った「自分を養ってやりたい」の言葉は、高校3年の時の京都女子駅伝大会での、高石友也の時の1節だったとのことでした。いろいろな人との出会い、良き先生との出会い、そして自分の信念を貫くための努力、また幸運を引き寄せるための努力をしながら、大学卒業後の小出監督との出会いに至るまでの話を聞きました。

2日目は、4分科会に分かれて研究講義が行われ、私達は、第1・第2分科会に参加をしました。第1分科会では、裾野市が「健康都市 裾野を支える体指の役割」"私達体指が考案したスーパーデットボール"を研究テーマに発表され、冬の雪合戦をもとにしたスポーツだと云うことでした。大井川町は、「地域に根ざした生涯スポーツの振興」と云うテーマで発表され

総合型スポーツクラブの勉強会を始めたが、時間がかりそうだし、17年度の合併が予想されるため、急がず焦らずに検討していこうと云う事でした。第2分科会では、竜洋町が「今、見直そう！人とのふれあいを」"親子ふれあい村の活動を通して"と、大須賀町が「町民の架け橋に！人生いつまでもスポーツを」"感動！汗と涙の富士登山体験隊"と云うテーマで、発表がありました。分科会を聞き、神戸市は、スポーツクラブを立ち上げているだけ他の市町村よりも進んでいる方だな、と思いました。【河瀬】



神戸市体育推進員連絡協議会名簿

～生涯スポーツ推進を後押し～

平成16年度の体育推進員が下記のとおり決定しました。

各区でのスポーツの推進を始め、校区や町の行事等にも積極的にご協力いただき、スポーツ振興の担い手として活躍が期待されます。

区名	氏名	区名	氏名	区名	氏名
	榎本勝也		倉橋 愛		鈴木秀夫
	西川誠雄		横田 直		森田光彦
	三浦義明		古岡淳二		後藤玲子
	伊藤嘉健		藤井成己		馬淵 聡
	加藤嘉彦		吉田正仁		谷口 豊
	鶴田健二		石崎時彦		嶋村武信
	若山みづ子		山本一正		国枝芳和
	栗野重典		山川 真		桑原利幸
	西脇博文		戸川義博		石原 均
	奥堀弘美		後藤宗久		葉山正孝
	林 尋満		水口善行		牛屋禮三
	宮前武雄		川崎信人		松永成弘
	安田貞美		松岡智治		鈴木 應
	中野明治		野村正二		長良 隆
	宮川仁一		河合正美		多賀良行
	池田勝博		大場和彦		笹井民也
	所 勤		佐久間敏幸		
	成瀬基樹		竹中保夫		敬称略

岐阜県体育指導委員研究大会

2月27日、中津川市の東美濃ふれあいセンターにて開催された、県体指の研究大会に参加しました。県下、各市町村の研究発表では、総合型地域スポーツクラブ設立に向けた取り組みについての活動一色でスポーツ環境の整備が、それぞれの地域社会にとって大きな問題になっていると思われました。

わが神戸市には、昨年4月「ごうどスポーツクラブ」がスタートして順調に推移し2年目をスタートできました。より魅力あるプログラムの提供と会員主導の自主的、自律的なクラブ運営に徹しなければと思いを新たにしました。【田中】

編集後記

またまた近づいてまーす。“オリンピック”今度は“アテネ”アテネは、女性が大活躍そうです。サッカー・ホッケーなど女性の選手は男性の倍近く参加するんですね。

これからは女性がどんどん活躍していきます。男性方もがんばってください。今度のオリンピックはどんな夢を見させてくれるのでしょうか楽しみです。 “がんばれ 日本！” (1)